

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 岩手県 】

1 実践テーマ	【 I、 V 】																				
2 実践対象者	奥州市立田原小学校 3～6年生 26名																				
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育・道徳) ② 行事名 () ③ その他 (ゆとり) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()																				
4 目標 (ねらい)	(1) オリンピック・パラリンピックの意義や歴史、アスリートの思いを知ること、オリンピック・パラリンピックに対する理解を深め、2020東京大会に向けての意識を高める。 (2) オリンピアンへの競技への取り組みや努力、思いを知り、夢に向かって努力する姿勢やあきらめずに努力する態度を養う。																				
5 取組内容	1 指導計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>ねらい</th> <th>内 容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育</td> <td>オリンピックの意義や歴史、オリンピックで活躍した人などを調べる活動を通してオリンピックに対する意識を高める。</td> <td> ○オリンピックについて調べたこと ○東京オリンピックについて 指導資料DVD第1章、第4章 ○オリンピックで心に残る人やこと </td> <td>学習プリント1</td> </tr> <tr> <td>道徳</td> <td>1-2 不とう不屈、希望、勇気 より高い目標に向かって、くじけないで努力しようとする態度を養う。</td> <td> ○よりよく生きる喜び ・困難を乗り越える人間の強さや気高さ </td> <td>5校時 13:45～14:40</td> </tr> <tr> <td>体育</td> <td>星奈津美さんの実技指導を通して、水泳運動の基本や運動に取り組む態度を学ぶ。</td> <td> ○講師：星奈津美さんの紹介 ○星さんの講話 ○実技指導 ○質問 </td> <td>江刺クリーンパーク 13:30～16:30</td> </tr> <tr> <td>ゆとり</td> <td>○星奈津美さんへ感謝の気持ちを表す。</td> <td>○星さんへ感謝の手紙を書く</td> <td>朝活動 or 振り返りの会 各教室</td> </tr> </tbody> </table>	教科	ねらい	内 容	備考	体育	オリンピックの意義や歴史、オリンピックで活躍した人などを調べる活動を通してオリンピックに対する意識を高める。	○オリンピックについて調べたこと ○東京オリンピックについて 指導資料DVD第1章、第4章 ○オリンピックで心に残る人やこと	学習プリント1	道徳	1-2 不とう不屈、希望、勇気 より高い目標に向かって、くじけないで努力しようとする態度を養う。	○よりよく生きる喜び ・困難を乗り越える人間の強さや気高さ	5校時 13:45～14:40	体育	星奈津美さんの実技指導を通して、水泳運動の基本や運動に取り組む態度を学ぶ。	○講師：星奈津美さんの紹介 ○星さんの講話 ○実技指導 ○質問	江刺クリーンパーク 13:30～16:30	ゆとり	○星奈津美さんへ感謝の気持ちを表す。	○星さんへ感謝の手紙を書く	朝活動 or 振り返りの会 各教室
教科	ねらい	内 容	備考																		
体育	オリンピックの意義や歴史、オリンピックで活躍した人などを調べる活動を通してオリンピックに対する意識を高める。	○オリンピックについて調べたこと ○東京オリンピックについて 指導資料DVD第1章、第4章 ○オリンピックで心に残る人やこと	学習プリント1																		
道徳	1-2 不とう不屈、希望、勇気 より高い目標に向かって、くじけないで努力しようとする態度を養う。	○よりよく生きる喜び ・困難を乗り越える人間の強さや気高さ	5校時 13:45～14:40																		
体育	星奈津美さんの実技指導を通して、水泳運動の基本や運動に取り組む態度を学ぶ。	○講師：星奈津美さんの紹介 ○星さんの講話 ○実技指導 ○質問	江刺クリーンパーク 13:30～16:30																		
ゆとり	○星奈津美さんへ感謝の気持ちを表す。	○星さんへ感謝の手紙を書く	朝活動 or 振り返りの会 各教室																		

2 実践の様子

(1) 事前学習

事前学習として、昨年度の学習の振り返りを行った。

昨年度、「星奈津美さんから学ぼう」の学習で、なにを学んだのか、学んだことをどのように実践してきたのかを振り返った。

子ども達からは、星さんの講演の中で頂いた言葉

「悔しい経験を前向きにいかすこと」

「努力できる環境に感謝すること」

「夢は自分一人だけのものではないこと」

をしっかりと心に留めて学校生活に取り組んできた様子が伺え、昨年度の学習がとても有意義であったことがあらためて感じられた。

◎ 「星さんから学ぼう」PartII
6年

1 去年星奈津美さんから学んだことを書きましょう

何に対してもあきらめずに前向きに、努力する。
支えてくれる家族や友達に日々感謝の気持ち
を忘れず生活する。
がんばっているのは自分だけではない。チームとしてみんなが協力する。

2 星さんから学んだことを、学校や家庭での生活でどのように取り組んできたか書きましょう

水泳記録会、陸上記録会、タグラグビーなど、
ミスしたり失敗したりしてもあきらめず「次は必ず成功する」と前向きに考えて、努力することを心がけた。
いつも支えてくれる家族や先生方に感謝の気持ち
をもて、生活できた。
学級で協力して多くの行事をのりこえることができた。

3 今回の実技指導で星奈津美さんからどんなことを学びたいですか。

本格的な泳ぎ方。(バタフライのこつなど)
今までどのような練習をしてきたのか。
実際に、星さんの50mバタフライを見てみたい!

4 ガリンビックについて知っていること、調べたこと、楽しみにしていることなどを書きましょう。

オリンピックはギリシャで始まった。
再来年の東京オリンピックでは、
野球、ソフトボール、空手、スケートボード、
スポーツクライミング、サーフィンの新しい
競技が始まる。



◎ 「星さんから学ぼう」PartII
6年

1 去年星奈津美さんから学んだことを書きましょう

前向きにチャレンジすること。
家族や友達に感謝すること。
チームを大事にすること。

2 星さんから学んだことを、学校や家庭での生活でどのように取り組んできたか書きましょう

タグラグビーや水泳で泳ぎ上って前向きに感謝チーム
というあいことは目標にみんなて、声をかけあ
たり、チームをばげまし合たり先生や応援してくださ
た家族などに「ありがとうございました」と感謝
しています。

3 今回の実技指導で星奈津美さんからどんなことを学びたいですか。

どんなことに気をつけて泳いでいるか。
ぎんしょうしないためにどんなことをしているか。
水泳をやるうえでどんなトレーニングをしているのか。

4 ガリンビックについて知っていること、調べたこと、楽しみにしていることなどを書きましょう。

近代的なオリンピックは国際オリンピック委員会が開催する
世界的な総合スポーツ大会。現在夏季大会と冬季大会
の各大会が4年に1度、夏季大会は西暦で4の倍
数の年、冬季大会は4の倍数ではない偶数の年の
年で開催されるので、2年に1度開催される
ことになる。



また、下記のように道徳の授業を行った。

○内容項目－「よりよく生きる喜び」

○主 題－「困難を乗り越える人間の強さや気高さ」

○ね ら い－「人間には弱さとそれを乗り越えようとする強さや気高さがあることを理解し、人間としての生きる喜びを感じよりよく生きようとする心情を育てる。」

○資 料－「義足の聖火ランナー」～クリス・ムーン～

○考 察－授業を通して子ども達からは、「自分も、つらくても自分の目標に向かってがんばりたい。」「星奈津美さんの話にある、前向き、感謝、チームの言葉のようにがんばりたい。」といった感想が話された。
病気を克服してオリンピックに挑んだ星奈津美さんの話をあらためて考え、実技学習への意欲が高まった。

5 取組内容

(2) 星奈津美さんから学ぼう Part II



【星さんと円陣を組んで学習スタート】



【星さんの泳ぎを見て感激】



【蹴伸びの練習、ストリームラインを確認】

昨年度、星さんから教えて頂いた言葉、「前向き、感謝、チーム」を、合い言葉にいろいろな場面で取り組んできた。

今日も星さんと円陣を組んでかけ声をかけ、学習が始まった。

はじめに、星さんのクロールとバタフライの泳ぎを水中に潜って見学した。

メダリストの泳ぎをこんなにも近くで、しかも水中から見ることができるなんて、二度とない経験であった。

思わず、「お～！」と声が出るほどみんな、星さんのなめらかな泳ぎに感激・感心した。

いよいよ実技指導が始まった。

はじめは、水泳の基本「蹴伸び」の練習。

まずは自分自身で、その後、星さんにストリームラインのこつを教わってやってみた。

- ・足が沈まないように
- ・腕と頭の位置

繰り返し星さんから教えて頂いたことをやってみると、水の中をスムーズに進む感じがした。

ちょっとした姿勢に気をつけることで、みんな前より遠くへ蹴伸びで進むことができた。

次は、キック。バタ足の練習。ビート板を使って25mをバタ足で進んだ。

星さんは一人一人をしっかり見てくださった。

水の上でキックすると空気の泡を蹴ってしまうので水中をしっかりキックすることを教わった。

キック練習をした後はクロールを教わった。

まずはビート板を持って片方ずつストロークの練習、その後、ビート板をはずしコンビネーション練習をした。

- ・息継ぎは頭と一緒に腕を戻す。
- ・フィニッシュはしっかり肘が

伸びきるまでかききることを教わった。



【ビート板を持ってキックの練習】



【星さんに泳ぎのコツを質問】

その後は、星さん専門のバタフライの泳ぎのコツを教えてくださいました

- キックのテンポを大切にすること
- 呼吸のリズムもキックと合わせる

今まで思うように泳げなかったバタフライも、なにか泳げるきっかけをつかみ始めた子ども達だった。

最後は、星さんへの質問タイム。子ども達からたくさんの質問が出された。

そのなかで、「星さんのライバルは誰ですか。」という質問に対して、星さんは、格好いいこと言うようですがと、前置きされ、「自分にとっての、ライバルは自分自身です。自分に勝ってからでないと相手とは闘えない。練習では完璧を求めるのではなく、全てを出し切ろうと思って全力で取り組んできた。」とお話された。

「ライバルは自分自身」という言葉は、昨年度の授業で学んだ、星さんのあきらめず真摯に水泳に向き合ってきた生き様が示している言葉であったので、子ども達の心に印象深く残った様子であった。



【星さんと記念撮影】

(3) 事後学習

星さんからの実技指導を受けて、学んだことを振り返る学習を行った。授業後、子ども達からは以下のような感想が寄せられた。

- ・私は自分の生活の中で生かしたいことが一つあります。自分をライバルとして自分に負けず前向きにこれから生活していきたいということです。星さんから2度も水泳について教えて頂き、とても貴重で嬉しかったです。(6年)
- ・星さんのお話で、星さんのライバルは自分と言っていたので、ぼくもそれを聞いて、自分のライバルは自分自身にしたいです。星さんの泳ぎを見ていい姿勢だったしきれいでした。ぼくも星さんのように水泳がうまくなりたいです。星さんから学んだことをこれから生かしたいです。(4年)
- ・技術面だけでなく気持ちの面で星さんから学ぶことがありました。「本当のライバルは自分。」いつも自分の持っている記録を超えるように努力することが大切だとわかりました。新記録を出しても満足しないで次はその上をいくように努力することを忘れず運動でも生活でも心がけたいです。(6年)

星奈津美さんから学んだこと

6年

◇感じたことや学んだこと、これからの自分に生かしたいことなどを書きましょう

本当のライバルは他の人ではない、自分だということを知りました。どんなに強い相手でも最後のライバルは自分の気持ちなんだと思いました。私も(やめようかな)と思う時がありました。そんな時はこの言葉を思い出して自分と向き合いがんばっていきたいです。

実技では、メダリストだからこその細かい動きを教えてもらいました。細かいけれどとても大切な動きなんだなと思いました。私たちが、「前向き」「感謝」「チーム」を目指して、とりくんでできたか、今日おそれたことを入れれば、もっと高めることができると思いました。今日、星さんから学んだことを次にいかし、これから「前向き」「感謝」「チーム」を目標とし、さらに高めていきたいと思いました。

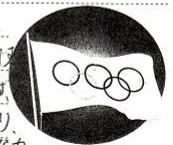


星奈津美さんから学んだこと

6年

◇感じたことや学んだこと、これからの自分に生かしたいことなどを書きましょう

星さんに、水泳を教えてもらい、技術の面でも上達するところがありました。例えば、バタフライをリズムよく泳ぐためには、キックのリズムを整えて、それに手をつけることを意識すればよいことなど、メダリストだからこそ、教えてもらえることがあるし、分かりやすく教えてくださったので、すぐに理解することもできました。それに、日ごろからできるトレーニングも教えてもらい、私もすぐにやってみたいと思いました。技術の面以外にも、気持ちの面で星さんから学ぶことができました。「本当のライバルは自分だ。」いつも、自分の持っている記録をこえるように努力することが大切だとわかりました。新記録を出しても満足しないで次は、その上をいくように努力することを忘れず、運動面でも、生活面でも心がけていきたいです。

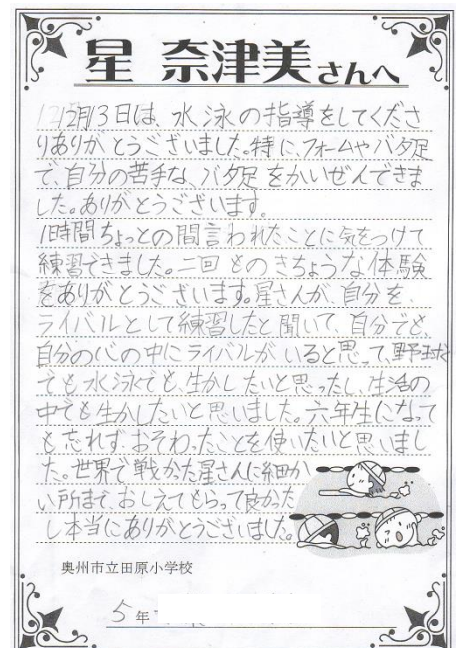
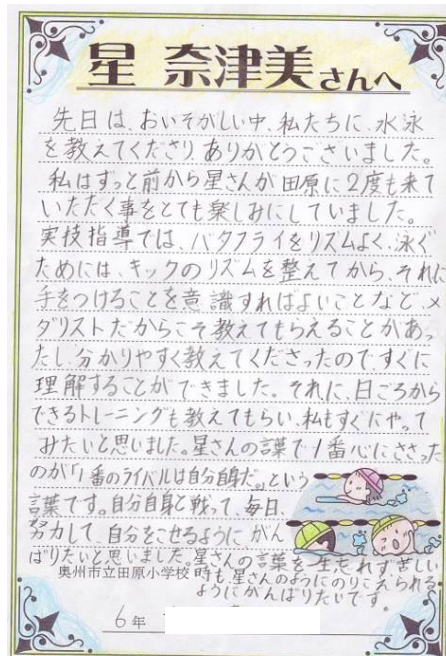


星さんから教えた事を忘れず、中学生になって、新しい生活が始まり、つらい事があっても今日の事を思い出して努力していきたいです。

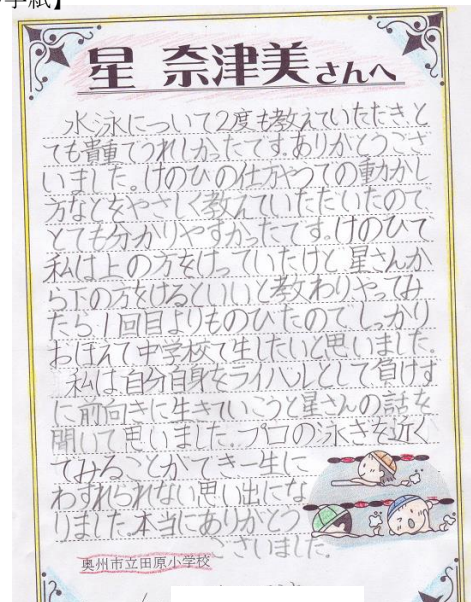
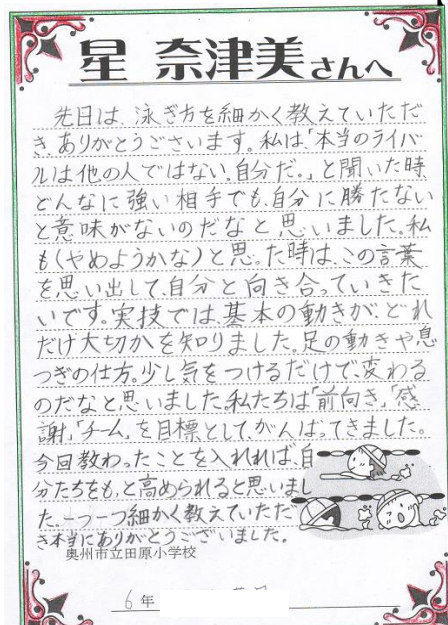
【学習の振り返り・星さんから学んだこと】

最後に、星さんへの感謝の思いを手紙に綴った。
以下は、子ども達の手紙からの抜粋である。

- ・星さんが自分をライバルとして練習したと聞いて、自分でも自分の心の中にライバルがいると思って野球でも水泳でも生かしたいと思ったし、生活の中でも生かしたいと思いました。6年生になっても教わったことを忘れずに使いたいと思いました。世界で戦った星さんに細かい所まで教えてもらって良かった。本当にありがとうございました。
- ・私は自分自身をライバルとして前向きに生きていこうと星さんの話を聞いて思いました。プロの泳ぎを近くで見ることができ一生忘れられない思い出になりました。本当にありがとうございました。
- ・星さんの言葉で一番心にささったのは、「一番のライバルは自分自身だ。」という言葉です。自分自身と戦って、毎日努力して自分を超えるようにがんばりたいと思いました。星さんの言葉を一生忘れず、苦しいときも星さんのように乗り越えられるようにがんばりたいです。
- ・私は、「本当のライバルは他の人ではない。自分だ。」と聞いたとき、どんなに強い相手でも自分に勝たないと意味がないのだなと思いました。私も（やめようかな。）と思ったときはこの言葉を思い出して自分と向き合っていきたいです。私たちは、「前向き」「感謝」「チーム」を目標としてがんばってきました。今回教わったことを加えれば自分たちをもっと高められると思いました。一つ一つ細かく教えて頂いて本当にありがとうございました。



【星さんへの手紙】



6 主な成果	○ 事前学習でオリンピックについての調べ学習をしたり、道徳でパラリンピック選手の題材を取り上げたりしたことで、オリンピック、パラリンピックへの理解と関心を高めることができた。 ○ 昨年度に続き2カ年で実施したことで、昨年度の講演で学んだことを実践した上での実技の学習となり、技術面はもとより精神面で大きく成長する機会となった。 ○ 実際に泳ぐ姿を見たり、ストリームラインの姿勢を教わったりしたことで水泳の基本姿勢について学ぶことができた。 ○ クロールのストローク、バタフライの呼吸のタイミングなど、自分たちの取組を通して疑問を抱いた点について教わり、改善を図ることができた。 ○ 2カ年を通して学んだことを、さらにこれからの自分の生き方に生かしていこうとする気持ちや態度の育成が図られた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	○ 昨年度の事業のみで終わらせることなく、星さんから学んだことを、様々な場面で目標として設定したり、学校内に掲示したりするなど、常に日常的、継続的に意識して実践した。 ○ 昨年度の講演を踏まえ、今年度はプールを貸し切ったの実技指導を行って頂いた。 ○ 実技のみならず、事前学習、道徳の時間、事後学習を含めた一連の学習として位置づけ、学んだことを学習プリントにまとめることができた。
8 主な課題	○ 今回は「江刺クリーンパーク」プールを貸し切り実施することができたが、公営プールではないため、経費がかかった。学校独自では実施できない場合も想定できることから経費の補助等の措置があれば良いと感じた。 ○ 2カ年の事業で学んだことを、今後の日常実践に継続的に生かしていくことが大切と考える。
9 来年度以降の実施予定	○ 2カ年にわたり、非常に貴重な有意義な機会を与えて頂いて、心から感謝いたします。この事業で子ども達は将来に繋がるかけがえのない宝物を頂いたと感じております。 来年度も実施させて頂けるなら是非お願いしたいと考えます。